

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月29日

上場会社名 メタウォーター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9551 URL <https://www.metawater.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務企画室長 (氏名) 高瀬 智之 (TEL) 03-6853-7317
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	37,677	14.0	△910	—	△861	—	△711	—
2026年3月期第1四半期	33,054	32.1	△603	—	△665	—	△1,003	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 307百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △2,027百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△16.29	—
2026年3月期第1四半期	△22.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	210,539	92,735	41.8
2026年3月期	220,292	94,150	40.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 88,043百万円 2026年3月期 89,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	14.4	15,000	16.5	14,500	10.1	10,000	9.5	229.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	44,258,500株	2026年3月期	44,258,500株
2027年3月期1Q	598,044株	2026年3月期	598,014株
2027年3月期1Q	43,660,485株	2026年3月期1Q	43,638,786株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調となりました。また、世界の経済状況は、一部の地域において足踏みがみられるものの緩やかな持ち直しが続きました。一方で、中東情勢や金融資本市場の変動、米国の政策動向による影響等、景気の下振れリスクが懸念されました。

このような状況のなか、当社グループは、2027年度（2028年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2027」の達成に向けて、「①各事業分野の成長戦略」「②企業価値向上に向けた投融資戦略」「③サステナビリティに関する取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次表のとおりとなりました。

売上高は順調に推移し、前期を上回りましたが、環境エンジニアリング事業及び海外事業において減益となり、営業利益は前期を下回りました。なお、経常利益には円安影響による為替差益134百万円が含まれています。

また、当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	33,054	37,677	+4,622	+14.0
営業利益	△603	△910	△306	－
経常利益	△665	△861	△195	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,003	△711	+292	－
受注高	69,645	74,262	+4,617	+6.6
受注残高	355,291	425,884	+70,592	+19.9

当社グループの事業は、環境エンジニアリング事業、システムソリューション事業、運営事業、海外事業の4セグメントに区分されています。セグメント別の業績は次のとおりです。

(環境エンジニアリング事業)

環境エンジニアリング事業セグメントは、水環境事業及び資源環境事業で構成され、国内の浄水場・下水処理場・資源リサイクル施設向けの機械設備等の設計・建設及び保守・維持管理等を主たる業務としています。

水環境事業においては、大型の建設工事が順調に推移し、売上高は前期を上回りましたが、一部製品に関する不具合対策費用を計上したことにより、営業利益は前期を下回りました。

資源環境事業においては、大型の建設工事が順調に推移し、売上高は前期と同水準となりましたが、一部建設工事の損益悪化及び保守・維持管理の売上高減少等により、営業利益は前期を下回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,553	9,497	+943	+11.0
営業利益	△427	△727	△299	－
受注高	16,588	21,013	+4,425	+26.7
受注残高	109,549	129,652	+20,102	+18.4

(システムソリューション事業)

システムソリューション事業セグメントは、システムエンジニアリング事業及びカスタマーエンジニアリング事業で構成され、国内の浄水場・下水処理場向けの電気設備等の設計・製造及び保守・維持管理等を主たる業務としています。

システムエンジニアリング事業においては、大型の工事が順調に推移し、売上高は前期を上回りましたが、労務費の増加等により、営業利益は前期をやや下回りました。

カスタマーエンジニアリング事業においては、修繕工事が順調に推移し、売上高は前期と同水準となり、また、一部案件の損益改善により、営業利益は前期を上回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	6,903	7,269	+365	+5.3
営業利益	△1,168	△1,141	+27	—
受注高	26,213	19,346	△6,867	△26.2
受注残高	90,636	109,130	+18,493	+20.4

(運営事業)

運営事業セグメントは、国内の浄水場・下水処理場・資源リサイクル施設の運営事業を主たる業務としています。

子会社の業績が順調に推移し、売上高・営業利益共に前期を上回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,802	6,126	+324	+5.6
営業利益	113	239	+126	+111.6
受注高	13,364	15,172	+1,807	+13.5
受注残高	110,582	127,480	+16,897	+15.3

(海外事業)

海外事業セグメントは、海外の浄水場・下水処理場向けの施設・設備の設計・建設及び保守・維持管理並びに民需事業を主たる業務としています。

北米子会社及び欧州子会社の業績が順調に推移し、売上高は前期を上回りましたが、北米子会社の1つであるSchwing Bioset, Inc.における低収益案件の影響により、営業利益は前期を下回りました。

	2026年3月期 (百万円)	2027年3月期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	11,795	14,784	+2,988	+25.3
営業利益	879	717	△161	△18.3
受注高	13,478	18,729	+5,250	+39.0
受注残高	44,522	59,621	+15,098	+33.9

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9,753百万円減少し、210,539百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品が増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ14,278百万円減少し、148,875百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定（有形）が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ4,530百万円増加し、61,600百万円となりました。

流動負債は、契約負債が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ7,919百万円減少し、71,339百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ418百万円減少し、46,464百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ1,415百万円減少し、92,735百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績につきましては、2026年4月24日発表の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,266	59,372
受取手形、売掛金及び契約資産	109,932	62,121
仕掛品	2,070	5,320
貯蔵品	12,244	12,807
その他	11,640	9,254
流動資産合計	163,154	148,875
固定資産		
有形固定資産	13,835	18,593
無形固定資産		
のれん	3,890	3,835
顧客関連資産	6,389	6,378
公共施設等運営権	800	787
その他	11,718	11,466
無形固定資産合計	22,798	22,467
投資その他の資産	20,436	20,539
固定資産合計	57,070	61,600
繰延資産	67	62
資産合計	220,292	210,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,356	14,789
電子記録債務	8,213	10,939
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	711	715
未払法人税等	2,925	269
契約負債	19,495	27,902
完成工事補償引当金	2,435	2,661
受注工事損失引当金	1,227	1,010
その他	14,893	13,050
流動負債合計	79,259	71,339
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,017	5,016
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	13,883	13,541
退職給付に係る負債	4,665	4,525
その他	3,316	3,379
固定負債合計	46,882	46,464
負債合計	126,142	117,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	9,562	9,562
利益剰余金	61,207	58,859
自己株式	△1,161	△1,161
株主資本合計	81,554	79,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162	167
繰延ヘッジ損益	174	200
為替換算調整勘定	6,057	6,773
退職給付に係る調整累計額	1,569	1,696
その他の包括利益累計額合計	7,964	8,837
非支配株主持分	4,631	4,691
純資産合計	94,150	92,735
負債純資産合計	220,292	210,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	33,054	37,677
売上原価	26,172	29,267
売上総利益	6,881	8,409
販売費及び一般管理費	7,485	9,320
営業損失(△)	△603	△910
営業外収益		
受取利息	65	44
受取配当金	135	102
為替差益	-	134
その他	37	4
営業外収益合計	238	285
営業外費用		
支払利息	129	141
持分法による投資損失	-	43
固定資産処分損	0	32
為替差損	152	-
その他	18	19
営業外費用合計	300	236
経常損失(△)	△665	△861
特別損失		
システム移行関連費	5	-
特別損失合計	5	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△671	△861
法人税等	247	△247
四半期純損失(△)	△918	△613
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	97
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,003	△711

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△918	△613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	5
繰延ヘッジ損益	3	75
為替換算調整勘定	△1,151	714
退職給付に係る調整額	△7	117
持分法適用会社に対する持分相当額	-	10
その他の包括利益合計	△1,108	921
四半期包括利益	△2,027	307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,114	161
非支配株主に係る四半期包括利益	86	146

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	
(税金費用の計算)	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、見積実効税率が使用できない連結会社については法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	環境エンジニアリング 事業	システムソリューション 事業	運営事業	海外事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,553	6,903	5,802	11,795	33,054	—	33,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,553	6,903	5,802	11,795	33,054	—	33,054
セグメント利益又は 損失(△)	△427	△1,168	113	879	△603	—	△603

(注) セグメント利益又は損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	環境エンジニアリング 事業	システムソリューション 事業	運営事業	海外事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,497	7,269	6,126	14,784	37,677	—	37,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,497	7,269	6,126	14,784	37,677	—	37,677
セグメント利益又は 損失(△)	△727	△1,141	239	717	△910	—	△910

(注) セグメント利益又は損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	712百万円	929百万円
のれんの償却額	81百万円	128百万円